

付帯意見

1. 公立公営により安定的に園運営ができるという意識から脱却し、少子化の中で保護者から選ばれる園として積極的な園運営の意識を持って経営に当たること。
2. 新たな園は、村の持つよさを生かしつつ既存の2園を深化・発展させるという視点に立ち、村としての幼児教育の理念や目標の再定義を図ること。
3. 公立公営のよさを最大限生かし、地域の環境や周辺施設等を活用した魅力ある幼児教育の推進に努めること。
4. 村立幼稚園の特長や教育のよさを積極的に広報する具体的な取組を検討すること。
5. 遊びや生活の中で、様々な環境と関わることを通して成長を育む幼児教育の特性について、保護者の理解を促す具体的な取組を検討すること。
6. 子どもや保護者が駐車場から園舎まで移動する際の安全を確保するなど、子どもにかかわる村民の安全や利便性を考慮した施策を講じること。
7. 就園希望者を募集する際、保護者の視点に立ち、未就学児童の就園施設共通の入園希望調査の実施を検討すること。
8. 社会情勢の変化や今後の就園人数の推移を注視し、村立幼稚園のあり方については継続的に検討を行うこと。